

辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会《2018年1月30日・No58》
連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895



《名護市長選レポート》八記久美子

厳しい選挙、ひしひしと感じて



1月23日に開かれた総決起集会には、4000人近い人が



ゲート前の道の、右側にも左側にもトラックの列が…



私の足をかかえて囲いに向かう機動隊員と、ゲートの中から出てくるトラック。



ごぼう抜きされ、囲いの中に入れられた住民や県外の人たち。「違法工事はやめろ」「違法行為はやめろ」「トラックは帰れ」と、みんなで叫び続けました。

■カンパで9日間

「埋め立ての土砂を、門司から出さなくていいように、門司の土砂で宝の海を殺さないために、何としても稲嶺さんを」と、皆さんにカンパをお願いして、1月19日～1月27日の9日間、沖縄に行ってきました。

■毎朝ゲート前に

朝はまず、バスでゲート前に行き(市内からバスで20分位)、朝のトラック搬入を止めるための座り込みに参加。機動隊にごぼう抜きにされた後、選挙の支援センターに10時半頃もどり、お昼過ぎまで電話かけ。その後14時～19時まで、後援会の宣伝カーのアナウンサーとして、名護の町を走り回りました。

全国的に氷点下の日々は、さすがの南国・沖縄も寒く、小雨の降る夜、窓を全開して走る宣伝カーの中で、震えあがりました。

■胃の痛くなるような戦いが

私は告示日直前まで名護市にいましたが、弁士がしゃべっていると「うるさい、やめろ!」と言う妨害もありました。他の人から「稲嶺さんのチラシお断り」のステッカーを見たという話も聞きました。相手方の応援が市外からきて、その車で渋滞が起きたこともあり。日増しに相手がどんどん押しつけてくるのを感じた日々でした。

新基地工事には、名護市長の権限が大きく影響します。基地をストップさせるのか、工事を進めるのか、胃が痛くなるような戦いが展開されていました。

■なんとしても稲嶺さんを

子どもは宝・子どもを守るのは大人の役目と、いろんな公約を実現してきた稲嶺さん。当選を祈りながら、ニュースを作っています。

《本部(もとぶ)町・塩川港》 石材の積み出し港にも行ってきました



トラックの前でお散歩スタイルの抗議行動



機動隊のお出ましです



機動隊の人は、話しかけても返事をしません。こちらの目も見ません。



台船に向かうトラックの列



港の入り口から、石材会社の石の洗い場が見えました

●石材の積み出し港にも

名護での一日は、ゲート前から始まりましたが、一日だけ本部の塩川港に行きました。ホテルまで迎えに来てくれたのは、土砂全協の一員の阿波根さん(本部町島ぐるみ会議)です。

名護市の隣町である本部からも、たくさんの石材が辺野古に運ばれています。港からは波やその他の関係で、毎日というわけでもないのですが、積み出しの頻度は上がってきているようでした。

●お散歩スタイルで抗議行動

港に着いてしばらくすると、石材を積んだトラックがやってきました。地元の皆さんは、トラックの通り道を、プラカードやのぼりをもって行ったり来たり「お散歩スタイル」の抗議行動を始めました。そのうち機動隊が来て、機動隊の車で囲った場所に、私たちを閉じ込めました。それでも、この日は30分ほどを、トラックを止めることが出来ました。

●港から運ぶ理由、聞き忘れまして

この石を出している会社は、国道を挟んだ港の向こう側にあり、トラックに載せた石材を水で洗っているのが確認できました。また、トラックで直接ゲート前に向かうのも確認できました。

船だと、北回りと南回りがあり、南回りだと恐ろしく時間がかかります。トラックだと30分もしないでゲート前に着くし、積み替える必要もありません。なんでこんなことをするのか、今度聞いてみたいと思います。



石材はこの台船につまれ、それから別の船に積み替えられて、辺野古に運ばれます。なぜそんなことをするのかは、また別の機会に。

カンパをお寄せいただいた皆さん、本当にありがとうございました。心から感謝しています。財政報告は別紙を用意しています。ご覧ください。